

第2回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和3年度 第2回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和3年10月1日（金）14：00～15：40
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 委員会室2
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、吉岡滋樹委員、澤村健治郎委員、吉安勝行委員、上野美智子委員、
永富靖人委員、野見山桂子委員、松田クニ子委員、

＊欠席委員 西森章雄委員、三船國弘委員、大森成順委員、大里理子委員

（2）執行機関

企画財政課長補佐 田中ひふみ、企画財政課長補佐 野見山泰秀、
行政改革推進係 太田野与香

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

- （1）前回審議会の振り返り
- （2）第3次行政改革令和2年度実施状況について（審議）
- （3）外部評価の実施方法について
- （4）その他

【審議の内容】

（1）前回審議会の振り返り

審議会スケジュールについて、今後の審議の流れとともに資料により説明を行った。

（事務局）

（2）第3次行政改革令和2年度実施状況について

第3次行政改革実施計画の令和2年度実施状況について、資料に沿って説明を行った。

（事務局）

第3次行政改革実施計画の令和2年度実施状況について、次のような質問及び意見が出た。

（委員）

・これまでいろいろな取組みを実施されているが、実施してきたことがあまり知られていないので、取組状況をまとめた資料等を、ホームページなどで公開するようにしてはどうか。

・項目3－1「国民健康保険事業特別会計の経営健全化（医療費の抑制・適正化）」や項目4－1「介護保険事業特別会計の経営健全化（介護給付の適正化）」のように、目標指標が文言で整理されてあるものや設定されていないものについて、効果が出ているのかが分かりづらい。審議会では、質問などをして事務局から説明を受けるため、実施している

ことが理解できるが、市民には伝わっていない。例えば、ケアプランチェック数を示すなど、実施状況や効果などの見せ方についても、今後検討していくべきである。

- ・項目１６「タブレット活用による経費の削減」について、項目２７「電話交換のコールセンター化」のように、職員人件費などに換算して効果額を数値化してはどうか。

- ・項目１７「組織・機構の見直し」について、庁舎を１本化することにより職員の事務は効率化していると思うが、庁舎を１本化したために、例えば交通等の地域間のバランスなど、より一層努力しなければならないことがあるのではないかと。

- ・項目２１「事務・財務手続の簡素化」について、取組状況に「改正する必要がなかったため」と記載されているが、これは今までの取組で事務改善を行って改正を行っているため、昨年度は改正の必要がなかったということか。

→その通りである。財務手続を簡素化するための改正を平成３０年度に行っており、その後は改正を行う必要がなかったということである。

→取組状況の記載の仕方として、現在記載されている内容だけでは、きちんと伝わらないので、内容を詳しく記載するべきである。

- ・項目２４「敬老事業の見直し」について、取組状況に「鶴亀親交券支給事業は平成３１年度をもって終了した。今後も継続して見直しを行う。」と記載されてあるが、敬老事業は他にどういったことを行っているのか。また、コロナの影響で事業を実施できないこともあると思うので、その他の事業も廃止することは検討されていないのか。

→鶴亀親交券以外の敬老事業については、次回審議会にて資料を提出する。事業の見直しは検討しているが、廃止する予定は今のところない。

- ・項目３３「窓口等業務の民間等への委託」について、業務の効率化とどうつながるのか。

→今後、職員数を市の人口規模に応じた数にしていくため、証明書を窓口で渡すなどの職員でなくてもできる業務を委託することにより、決定等の職員でしかできない業務に職員がより多くの時間を費やすことができるようになる。

- ・民間委託の項目については、職員数の削減等を効果額として数値化してはどうか。

- ・項目３８「スクールバス運行業務の民間委託等」について、実績が見込みを下回った理由がよく分からない。

→担当課に確認し、次回審議会で説明する。

- ・電子化などで効率化するのもいいが、全体的にアナログな部分も大事にしてほしい。

(３) その他

外部評価の実施方法について、説明を行った。(事務局)

9. 配布資料

- ・令和３年度第２回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・外部評価の実施方法について（資料４）